

大豆戸の戦い まめどのたたかい

きょうがたくん ばくふくん きそがわ まかま
京方軍は、幕府軍を木曾川で待ち構え

ました。
かかみがはら かつせん ち まめ
各務原が合戦の地となったのは、大豆
戸という浅瀬があり、軍勢が徒歩で渡れ
る場所であったからだといえます。大豆
戸の戦いは、幕府軍が圧倒的大軍をもつ
て木曾川を強引に突破し、京方軍を打ち
破った戦いでした。

さいど あつ うじがわ
京方軍は再度軍勢を集め、宇治川で合
戦を挑むも、幕府軍に敗れました。上皇
に味方した主だった武将たちは逃亡、自害し、後鳥羽上皇自身は隠岐島に島流しになりま
した。

じょうきゅうらん しょうり
承久の乱の勝利によって幕府は、乱で味方した武士に上皇から奪った土地を与えたり、
じきてんのう けつていけん え
次期天皇の決定権を得たりするなど、朝廷に対して優位な立場になりました。



行ってみよう！

承久の乱合戦供養塔 じょうきゅうのらんかつせんくようとう

合戦の地となった前渡の矢熊山（前渡不動山）には、
承久の乱の戦没者を供養したと伝わる、「承久の乱合戦供
養塔」があります。これは日本で唯一、「承久の乱」の名
前のついた史跡です。現在も、前渡で戦いのあった毎年
6月に供養祭が行われています。



前渡不動山 まえどふどうさん

山頂からは、木曾川や愛知県を一望することができます。
この地に陣取った京方軍は、各務原の山々を見張り
台にして、木曾川で敵を食い止めようとしたのかもしれ
ません。現地で、迫り来る幕府軍を迎え撃つ京方軍に、
思いをはせてみてはいかがでしょうか。



制作：各務原市文化財課・歴史民俗資料館 イラスト：つぼうちきょう

発行：各務原市観光交流課 TEL 058-383-9925

各務原市観光協会ウェブサイト <https://kakamigahara-kankou.jp>

本事業は公益財団法人せきしん地域振興協力基金の助成を受け作成しています



じょうきゅうのらん
かつせんは
かかみがはら

承久の乱、

決戦は各務原！



ごどばじょうこう
後鳥羽上皇



ほうじょうよしとき
北条義時

ほうじょうまさこ
北条政子

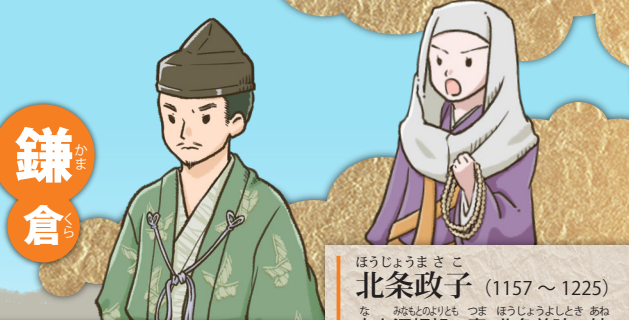
じょうきゅう
承久三年(1221)4月、後鳥羽上皇は
かまくらばくふ じつけん じつけん ほうじょう
鎌倉幕府の実権をにぎる執権・北条
よしとき たお けつい
義時を倒すことを決意し、

ぎょう へい あつ たい
京に兵を集めました。対して幕府は、北条政子の説得によって、多くの
ぶし みかた
武士を味方につけ、後鳥羽上皇と鎌倉幕府、それぞれのもとに武士たち
が集まりました。「承久の乱」の始まりです。

- 5月15日 後鳥羽上皇、北条義時を倒すことを命ずる
- 5月19日 鎌倉幕府、北条政子の説得によって多くの武士を味方に付ける
- 5月21日 北条義時、息子の北条泰時に出陣を命じる。幕府軍は軍勢を東海・東山・北陸の三つに分かれて進軍する。合計で19万騎
- 6月1日 後鳥羽上皇、幕府軍の進軍を知る
- 6月3日 後鳥羽上皇、防戦のため軍勢を派遣（京方軍）。京方軍は木曾川沿いで待ち構える
- 6月5日 幕府の東海道軍は一宮に到着。幕府の東山道軍は大井戸を渡って京方軍に攻めかかる
- 6月6日 大豆戸の戦い**
- 6月8日 藤原秀康らが後鳥羽上皇に大豆戸での敗北を報告する
- 6月12日 京方軍、再度出陣する
- 6月14日 宇治川の戦いで幕府軍勝利
- 6月15日 後鳥羽上皇は降伏し、幕府軍が京に入る

かかみがはら だいかっせん
各務原で大合戦！
 まめど たたか
大豆戸の戦い - 1221年 -
 6月6日

かかみがはらし まえどちくとうじ まめどよ
各務原市の前渡地区（当時は大豆戸と呼ばれた）で、
 りょうくん そうたいしょう げきとつ たたか おこな
両軍の総大将が激突する戦いが行われました。



ほうじょうまさこ
北条政子 (1157 ~ 1225)
 な みなとのりよと つま ほうじょうよしとき あね
 亡き源頼朝の妻、北条義時の姉。
 しょうくん ほさ あま
 将軍を補佐し「尼将軍」と呼ばれた。御家人たちを説得し、味方につける。64歳

ほうじょうよしとき
北条義時 (1163 ~ 1224)
 みなとのりよと しこ せいとき たお かまくら
 源頼朝の死後、政敵を倒し鎌倉
 ばくふ きそ きす さくりやくか しょう
 幕府の基礎を築いた策略家。承
 きゆうらん とど せい
 久の乱では鎌倉に留まる。58歳

※人物の年齢は当時

大豆戸
 ※前渡

ふじわらのひでやす
藤原秀康 (? ~ 1221)
 かっせん けいけん すく きょうがたくん
 合戦の経験が少ない、京方軍の
 そうたいしょう こと ほじょうごう き い
 総大将。後鳥羽上皇のお気に入り
 しょうきゅうらん たたか
 りで、承久の乱では戦わずに逃
 げたとと言われる。

総大将
 1 上流で勝利した東山道軍が京方軍を攻撃

京
 3 東山道と東海道軍の勢いに京方軍は敗走

ご と ぼじょうこう
後鳥羽上皇 (1180 ~ 1239)
 ぶい けい かんし がつき しほく すいらい
 武芸、刀、漢詩、楽器、蹴鞠、水泳、
 たかがり じょうば わか ぬい ふんぶ
 鷹狩、乗馬、和歌を愛する文武
 りょうどう せい
 両道のスーパーマン。41歳

みうらたねよし
三浦胤義 (? ~ 1221)
 みうらよしむら おとうと まめど たたか
 三浦義村の弟。大豆戸の戦いで
 ほん い ぶゆう すく
 23人の敵を射た、武勇に優れた
 ぶしょう ほうじょうし うら つま
 た武将。北条氏を恨む妻のため
 に戦う。

木曾川
 2 東山道軍に合わせ、東海道軍も川を渡る

総大将
 ほうじょうやすとき
北条泰時 (1183 ~ 1242)
 ほうじょうよしとき こ しょうきゅうらん
 北条義時の子。承久の乱では宇
 しがわ たたか りんかつやく あと
 治川の戦いで大活躍。義時の跡
 つ を継ぐ。38歳

みうらよしむら
三浦義村 (? ~ 1239)
 かすがず かっせん つね ほうじょうよしとき
 数々の合戦で、常に北条義時・
 まさこ みかた しょうきゅうらん やす
 政子に味方し、承久の乱では泰
 とき さき せいしやう
 時を支えた名将。

